

4月、初めて基礎プログラミングIの授業を受けたことを、私は今も鮮明に覚えています。初めての教室、初めての先生、さらに合同のクラスということもあり、とてもドキドキしながら受けました。また、先輩方から大変だという話を聞いていたので、情報リテラシーでも苦しんだ私がちゃんとついていけるのか、不安でいっぱいでした。

これまでの授業を振り返ってみて、毎週のレポート課題は本当に大変でした。忙しい中で完成させ、提出したレポートがC評価だったことにショックを受けたことも何度かあります。初めは評価に一喜一憂していましたが、次第に「次は頑張るぞ!」と思えるステップになりました。また、授業ではとにかくプログラム作成についていくことと、メモをとることに必死でした。そのため、課題のレポートを作成する際には、一から理解していかなければなりません。Trrのテストでも改めて感じたように、自信を持てるくらいにタイピングを身につけることが今後の課題でもあります。余裕を持って授業についていけるようになりたいです。

私はTrrも得意ではないし、情報リテラシーでも友達やTAの先輩にたくさん助けていただきました。わからないことだらけで、自分はコンピュータが苦手だと決めつけていました。そのため、保存したメールを続きから書く方法や、プログラムを貼り付ける方法、保存したファイルを検索したり確認したりする方法など、説明を見なくてもできるようになったことがとても嬉しいです。

情報リテラシーとは比べられないほど苦しかったプログラミングの授業でしたが、今ではそのなかで得たものも大きいと感じています。同じ語学クラスでもあまり話したことがなかった人と、仲良くなるきっかけになったからです。また、以前から仲がよかった友達であっても、一緒に悩み協力することで、より友情が深まったように思います。プログラムが理解できなかったり、なかなか実行できなかったりして諦めたくなかったことも何度かあります。泣きたくなったことはもっとあります。そんなとき、友達の存在は支えになりました。一人では何も出来なかったに違いありません。友達がいたからこそ、私はここまで頑張っただけでした。

これからのグループでのプログラム作成も、協力しあって満足のいくものを完成させたいです。そして、後期の授業・レポートもくじけずやり遂げます!